

「カタカナを書く能力」を高めるための協力学習の Example Non Example  
ストラテジーの使用効果  
(2016/2017 学年 SMAN 1 GIBINONG の X MIPA 6 クラスの学者に対して実験  
研究)

ジャカルタ国立大学

プспа キロノ セジャティ

Puspaks@ymail.com

## 概要

### A. はじめに

日本語の文字を書くことは日本語学習者にとって難しい言語能力の一つである。日本語の文字と他の国の文字を比べると日本語の文字にはルールが違う。日本語の文字に三つの書き準がある。それは「とめ」、「はね」、「はらい」である。そして、Tarigan (2008:1) によると、「スキルはたくさんの実践と練習することで得られる」。練習すればするほど、きれいな文字が書けるようになる。「ひらがな」だけでなく初級の学習者にとって「カタカナ」の文字も大切である。

初級の学習者にとって、きれいな「カタカナ」を書くのは難しいことである。したがって、「カタカナ」を書き込むための学習のストラテジ

必要である。その一つはカタカナ書く能力を高めるために Example Non Example ストラテジーが適切と考える。本研究の目的は二つで、次のようである。

1. 「Example Non Example ストラテジー」の使用効果を知るためである。
2. 「カタカナ」書き能力を高めるための「Example Non Example ストラテジー」の使用における学習者の反応を知るためである。

## B. 研究方法

本研究の方法は実験で、研究のデザインは *One Group Pretest-Posttest Design* である。この実験的研究で事前テストと事後テストお行う。事前テストは実験の前のライティングテストで初期能力試験を行う。そして、「Example Non Example のストラテジー」を4回使用する。次に、実験の後に事後テストとして、ライティングテストで最終能力試験を行う。このアンケートの目的は Example Non Example ストラテジーでカタカナを書くことに関して学習者の反応を決定するためである。本研究の場所は SMAN 1 Cibinong、2016/2017 学年である。サンプルは高校生で X MIPA 6 クラスの学生 39 名である。

## C. 研究結果と分析

1. 前後テスト、アンケートを元にした。

サンプルは39名なので、有意義は79で、自由度は5%であり、t表は1.99点、t数は12,82点になる。

前後テストの計算結果の表

| 計算結果  | 事前テスト  | 事後テスト  |
|-------|--------|--------|
| 平均点   | 46, 23 | 84, 46 |
| 標準偏差  | 14, 84 | 10, 98 |
| 標準エラー | 2, 40  | 1, 78  |
| t数    | 1, 99  |        |
| t表    | 12, 82 |        |

上の表によると、t数は1.99点で、t表は12,82点である。

t表はt数より大きいので、 $H_k$ が採用されているとなった。ということ、会話の授業におけるExample Non Exampleストラテジーの使用は学習者のカタカナの書く力を高めることにおいて効果的であるということの意味している。

2. アンケートの結果と分析である。

39名の学習者に対するアンケートの調査に基づいて、次の結果が分かった。

1. 53,85%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーは結構面白くなる」と答えている。

2. 51, 28%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーで教室がアクティブになる」と答えている。
3. 64, 10%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーで書く能力が高まる」と答えている。
4. 56, 41%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーで批判的思考が高まる」と答えている。
5. 46, 15%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーで自分の意見を表現することができる」と答えている。
6. 66, 67%の学習者が「Example Non Exampleストラテジーは「カタカナ」を書くことに対して適切に適用される」と答えている。

#### **D. 終わりに**

初めての日本語の授業のとき、「Example Non Exampleストラテジー」で教師が絵とワークシートを準備する。そして、学習者を10グループに分ける。それと、学習者が読み方については絵を見ながら、グループで相談する。次にグループで書き方を考える。相談の結果はワークシートに書く。そして、グループの代表はクラスの前で発表する。最後に、教師がその授業についてもう一度説明する。

研究データの分析に基づいて、SMAN 1 Cibinongでカタカナ学習の学習成果にExample Non Exampleストラテジーを使用するによると事前テストの平均点は46, 23点で、事後テストの平均点は84, 46点である。このように違いは平均点は38, 23点である。

研究結果によると、有意義は76で、自由度は5%であり、t数は1.99点、t表は12, 82のことになる。t表はt数より大きいので、 $H_k$ が採用されているとなり、 $H_o$ が拒否されている。このことから、Example Non Exampleストラテジーはカタカナ書き能力を高めることにおいて効果的であるということが言える。

最後にアンケート結果による、カタカナ書き学習のExample Non Exampleストラテジー研究に関しての学習者の意見は次の通りである。大半の学習者はカタカナ書き学習に対する「Example Non Exampleストラテジー」は面白く、効果的であると答えている。学習者のカタカナ書き学習に対する問題を助けることができる。カタカナを簡単に書くことができるようになり、日本語能力を高めることができるという回答が言えられた。